

5-3

あり、日中門戸開放の原則を破るべくありと論ずるものあれば、  
 余等(半四民)の其の真否を知らん。余等はいかに  
 的然たることを欲す。余等は實に日中門戸を  
 政治的の對情勢を疑ひあり。蓋し日中列國  
 と情との關係は、半四と情との關係と甚だ異なるものあり。半四  
 の中、半四のみ情國の土地をとり、となり、情國と政治的の關係  
 とありたるを。又半四將來の對情利益は、情國が利益  
 あり、自ら主権を認めざるを得ざるに至る。故に半四の利益  
 あり。故に情國の利益は、半四の利益

5-2

劉二十二年紀念の儀程の發言を記憶せし中、史字はまじ  
 情國の強うき儀程あり、備者に前市文官、國稅立勤  
 の經驗者人、宣教師、法大の市史教授等あり、其の  
 招かれ、其の中列席あり、情國交うき儀程、他の諸氏  
 も夫れ、儀程の方面より、在座を論じ、極く感服あり、  
 何れ儀程の大要、他の出發あり、其の意見す  
 所、半四の民の情國の對情、終極に、極く形が定まり  
 あり、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 意見あり、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 新中及び舊中、近頃、情國の關係、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見

5-1

謹終

秋冷の候、御花を如何し、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 對情、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 又大統領が、半情國の前途を、洞視する、國民の注意  
 を喚び起さん、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 氏を、情國の使、任命する、亦大統領の對情政策を、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 一、情とあり、其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見  
 其の趣あり、誠、半人と云ふ時、大伴の意見



と情との関係は、米四と情との関係と甚く異なりあり。米四  
の中、米四のみ情四の土地を取りとるは、情四と政治的敵味方  
とをわらざるなり。又米四得事の對情利益は、情四が米四立  
の利益、自ら主権を遂げざるを得ざるに至るは、米四の利益  
に在り。故に情四の南進地立を妨ぐるものは、米四の利益  
を害するものなれば、皆めまきと起るは情四をゆりて侵害者  
に抗せざるべからざる

重たき事なりあるなりと存也

クレー氏を公使とすは、其の意は、米四の富強  
を以て、米四の利益を遂げざるを得ざるに至るは、米四の利益  
に在り。故に情四の南進地立を妨ぐるものは、米四の利益  
を害するものなれば、皆めまきと起るは情四をゆりて侵害者  
に抗せざるべからざる

575  
⑤

又米四の日本が、日情は列四の共同利益をなす、今米四の  
もの見てもらひたるに。面を一見、如か米四の土地、其地  
を同視たるは、氏の誤解も消え去るものと存也。

私に有るべき意見を述べらる。クレー氏 米在中の定るは、西  
可定なるは、私には、米四の南進地立を妨ぐるものは、米四の利益  
を害するものなれば、皆めまきと起るは情四をゆりて侵害者  
に抗せざるべからざる

大隈伯爵閣下  
朝野新聞